

## ～七飯町海外派遣研修を体験して～

町民代表 松 本 貞 子

初めに、姉妹提携15周年の記念の年にこのような貴重な体験の機会を頂いた事に感謝いたします。

我が家とコンコードカーライルハイスクールとの出会いは、2004年のバンドメンバーのホストファミリーになった時からですが、英会話の出来ない私がコンコードに行ってホームステイをすることなど、考えたことも有りませんでしたし、私は絶対むりと思っていたのですが、私が体験して今までやって来た事が良かったのか？反省をしながら、今後のホストとして、プラスに成る事を見つける事と日常の生活の違いを主婦目線で体験する事を目標に参加させて戴きました。

それでもやはり、不安が募るばかり、初めてのアメリカまでの長いフライト、ホームステイ先の事や言葉の事など色々考えてしまいました。

不安な気持ちを持ちながら、5回の事前研修会も終わり10月4日出発の日になりました。長いフライトも眠る事ができシカゴに無事到着、入国手続きは、長蛇の列にも係らず審査官が交代の時間なのか居なくなり、日本では、考えられないと思いつつ何とか審査が終わりました。結局、乗継の便に間に合わず、その日は、シカゴに宿泊、翌朝ニューヨーク経由でボストンに向う事になりました。

昨日のハプニングも有りましたが、無事ボストンに到着と思いきや、またちょっとしたハプニングが有りました。でも、コンコードからのお迎えの方々の顔を見たら何か、ホットしました。



早速スクールバスでコンコードカーライル高校（CCHS）へ向いました。こちらは、もう紅葉が始まっています。

七飯と同じ様な気温、気候と聞いて出掛けましたが、こちらの方が早いんだ、と少しびっくりそして、少し寒いと思いました。（今年の七飯は、いつもより暖かったですね。）

CCHSに近づくに従って今日からホームステイが始まると、考えだしたら、だんだんと緊張感がましてくれました。夕刻それぞれのホストファミリーの元へ、私は、2009年に我が家にホームステイした事の在るディビット先生のお

宅にお世話になりました。先生の所には、もうすぐ、2歳なる娘さんがいらして（私にとって、孫の様な存在です）、「こんにちは」、と日本語で挨拶してくれました、とても、嬉しかったです。先生と奥様との会話は、持参した電子辞書と先生のアイパットを駆使してなんとかホームステイ6日間を過ごす事が出来ました。



ボストンコモンにて

先生のお宅は、ボストン市内で CCHS までは、高速道路で約20分です。ボストンの地下鉄駅レッドライン Davis 駅（ボストンは、地下鉄路線が4本ありそれぞれオレンジ、レッド、グリーン、ブルーラインと呼んでいるようです。）まで、徒歩15分位の所の住宅街でした。その地下鉄でボストンコモンへ、散策に連れて行って頂きました。（旅行に出ると、車の移動が多いのですが先生のお蔭で地下鉄への乗車体験ができました。）公園内は、観光



近所の公園にて

客の方も沢山居ましたが、地元の方の家族連れが沢山散策に来て子供達を遊ばせてました。それと、公園内は、野生のリスが沢山居たことに少しビックリしました。（とても、可愛かったですよ。）

先生のお宅の近所の公園も行きましたが、子供達を遊ばせに家族連れで来ているのを見て、自分は、子供とこんなふうに、遊ぶ事が出来たかな？（しなかったなあ、と少し反省・・・）

公園で、非常に良く目に付いた事は、公園の敷地内が子供たちが少しでもケガをしない様に弾力性が良い物を使っていた事です。（見晴公園遊具の所は堅い地面のままですよね）・・・

6日間の滞在中は、コンコードのみなさんにスケジュールを立てて戴き、オーチャードハウス、世界最古の戦艦、農園、果樹園の見学、オルコット小学校訪問、恒例の CCHS カフェテリアでのバーベキューパーティー、それと今年は、姉妹都市提携15周年と言うことで、記念式典、その後のレセプションと、盛り沢山のスケジュールを作って戴きました。レセプションには、コンコード在住の日本人の方々も多数出席して戴きました。（私の思っていた以上に日本人の方が生活して居る事に驚きました。）

オーチャードハウスでは、館長のジャンさんが、ルイザ・メイ・オルコットに扮し一人芝居を演じて下さいました。それを見て、日本に帰ったら改め

て「若草物語」をじっくり読んで見たいと思いました。

USS コンステーション号（世界最古の戦艦）見学の後この10月から、交流員なるニックさんの配慮でボストン港でクルージングをすることが出来ました。七飯に住んでいると、船に乗る機会が少ないのでボストンの街並みを見ながら楽しい時間を過ごさせて戴きました。その後ハーバード大学、大学生協を回り、私は、ディビット先生に迎えに来てもらい皆さんと別れました。皆さんと別れた後、先生が会わせたい人がいると言い、誰かな？・・・するとミランダ



オルコット小学校掲示

（現在ハーバード大学在学中、2009年我家にホームステイ）と再会出来ました。彼女が自分の大学を見てほしいと言うので図書館、カフェテリア等を見せて貰いました。どれも歴史を感じ感動しました（主人にも見せたいなと思いました）。試験期間中と言う事で校内を見た後、直ぐにミランダは、戻る事になり、私は、涙がポロリ・・・（試験期間中にも係らず、会いに来てくれた事がとても、嬉しく思いました。）

オルコット小学校では、体育館で記念品と歌の交換会（私たちは、森の熊さん、千の風を）のあと教室で授業参観をさせて戴きました。教室は、子供達が自然に覚える事が出来るような工夫が随所に見られました。それと、藤城小学校と交流があるそうで、廊下に藤城小の子供達の写真や手紙が掲示してありました。私は、交流が有る事を知りませんでした。この子供達が中学、高校生になった時交流研修派遣員になって訪問してほしいな、そうしたら、今まで以上に交流が続きその大切さを知ったり、感じてくれるのでは、と思いました。

6日間のスケジュールの合間に私は、ロビンさん、ジュンコさん、ホームパーティーの会場のナンシーさんの3軒のお宅お訪問する事が出来、興味（憧れ）があったキッチンを図々しく見せていただきました。どのお宅も広いキッチン、大きいオーブン、冷蔵庫、食洗機、それと、ワインセラー、私の憧れ其の物って言うキッチンでした。あと地元のスーパーにも、連れて行って戴きました。スーパーに置いて有る物に何か食生活の違いを感じて帰ってきました。

コンコードを帰る日は、朝早かったにも拘らず大勢の方が見送りに来て下さいました、この6日間は、盛り沢山のスケジュールを準備して、朝早くから夕刻、ある時は、夜遅くまで、私達のお世話をして戴き、コンコードの皆

さんには、感謝の気持ちで一杯です。この気持ちを伝え無いまま帰ってきた気がします。そして今まで何度かホストをして来ましたが、ホームステイを引受しているだけで、交流に参加している気になって居ましたが、コンコードの皆さんに接してきて、今まで以上にお手伝いしなければと思いました。(しかし、その前に英会話の勉強しなくては、いけませんね)

今回のお世話になった感謝の気持ちは、次回コンコードの皆さんが七飯に来町した際にお返ししたいと思います。そして皆さんとまた、会える事を楽しみに待って居たいと思います。

そして今回ご一緒した皆さんお世話になりました。感謝いたします。

最後に本当に貴重な体験をさせて戴き有り難うございました。